

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 10 月 23 日(2024.10.23)

【公開番号】特開 2023-62761(P2023-62761A)  
【公開日】令和 5 年 5 月 9 日(2023.5.9)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-084  
【出願番号】特願 2021-172850(P2021-172850)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 8

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 10 月 13 日(2024.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可視的な表示演出を行う表示手段と、

有効化されることに応じて非可視的な演出を行う演出器と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記演出器を有効化する場合に、所定の軌跡で動く絵柄を前記表示手段に表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 1 に記載の遊技機は、

可視的な表示演出を行う表示手段と、

有効化されることに応じて非可視的な演出を行う演出器と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

40

前記演出器を有効化する場合に、所定の軌跡で動く絵柄を前記表示手段に表示する

ところに特徴を有する。

上記手段によれば、斬新な非可視的な演出を行うことが可能になるので、遊技の興味が  
高まる。しかも、非可視的な演出が行われる場合に所定の軌跡で動く絵柄が表示される。  
このため、遊技者に非可視的な演出を容易に気付かせることが可能になるので、遊技者が  
非可視的な演出に気付かないまま遊技を継続することが防止される。